

成果指標				
成果指標	活動指標事業の実施回数			
指標設定の考え方	青少年補導員の活動を通して、青少年の指導がうまく適切に図られたか。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	1800	1800	1800	1800
実績	1828	1888	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	補導委員、教職員による昼夜を問わない献身的なパトロールより、事故防止・非行防止に大いに貢献している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	青少年の非行防止、被害防止のための活動は重要である。補導委員や教職員の献身的な活動により非行の早期発見、早期指導及び被害防止に繋がっている。今後ともこの活動を推進していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	担当者の課題認識の中で、「先生による青パト活動も順調に増加している」とこと、「今後の活動に尽力する必要がある。」という記述の関係性がわかりません。また、尽力するのは、誰がするのでしょうか。担当者に課題認識を見直しさせてください。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題